

会報 あかぎ

令和3年1月18日
第185号





土地家屋調査士倫理綱領

1. 使 命

不動産に係る権利の明確化を期し、
国民の信頼に応える。

2. 公 正

品位を保持し、公正な立場で
誠実に業務を行う。

3. 研 鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

も く じ

・新年のご挨拶	前橋地方法務局長 永瀬 忠 様	1
・年頭のあいさつ	群馬土地家屋調査士会長 佐藤栄二	2
・会務報告		3
・会議報告		5
・会員動向		11
・報 告		
・ 本会・協会合同役員研修会		12
・ 日調連 土地家屋調査士制定70周年記念シンポジウム		13
・ 関プロ 担当者会同（総務・業務・研修）		14
・ 日調連 令和2年度土地家屋調査士新人研修		16
・ 大規模災害対策基金募金		17
・お知らせ		
・ 令和2年度 新入会員研修会		18
・ 相談センター 令和2年度研修会		
・ 第77回(令和3年度)定時総会		

この三県境は、渡良瀬遊水地の谷中湖の南西にあり、群馬県板倉町海老瀬、栃木県栃木市藤岡町下宮、埼玉県加須市小野袋がそれぞれ接しています。三県境は、全国に40か所以上あるものの、基本的には山間部や川の中にあるため、平地にあるこの三県境は全国的にも珍しいものです。

〔表紙撮影：高崎支部 吉井 丈敏〕

新年のご挨拶



前橋地方法務局長

永瀬 忠

新年明けましておめでとうございます。

群馬土地家屋調査士会の会員の皆様に、謹んで新年のお祝いを申し上げます。

また、貴会並びに会員の皆様には、日頃から、登記行政に格別なる御支援・御協力を賜り、深く感謝するとともに、コロナ禍の現状において新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じている中で、登記業務の運営に御協力を賜っておりますことに、重ねて感謝申し上げます。

さて、近時、所有者不明土地問題が社会問題として取り上げられ、その解消に向けた各種の方策が政府の重要施策として位置付けられ、不動産登記に関しては、法定相続情報証明制度、長期相続登記等未了土地解消作業、表題部所有者不明土地の解消作業等、相続登記の促進等のための施策を実施しているところです。特に、昨年度から実施している「表題部所有者不明土地の登記及び管理の適正化に関する法律」(令和元年法律第15号)に基づく表題部所有者不明土地の解消作業については、所有者不明土地の中でも取り分け所有者の探索に時間と労力を要するものであり、不動産の表示に関する登記の専門家である土地家屋調査士の皆様には、所有者等探索委員として、御活躍いただいております。今後も土地家屋調査士の皆様の御協力を得て、表題部所有者不明土地の解消作業を進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

また、法務局の重要施策の一つである登記所備付地図の整備についても、土地家屋調査士の皆様の御協力を得て取り組んでおり、当局管内の地図作成作業2年目の実施地域である前橋市総社町植野の一部、1年目の実施地域である高崎市飯塚町の一部地域に

ついて、いずれも計画どおりに作業が進捗しているものと承知しております。今後も土地家屋調査士の皆様と確実な連携を図り、成果を上げていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

さらに、政府は、これまでも、「世界最先端IT国家創造宣言」(平成28年5月20日改定)及び「オンライン手続の利便性向上に向けた改善方針」(平成26年4月1日策定)により、オンライン利用の拡充・定着に取り組んできており、また、令和元年12月16日に施行された「情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律(デジタル手続法)や同法に基づく「デジタル・ガバメント実行計画(令和2年12月25日改定)」により、行政サービスの100%デジタル化の実現に取り組むなどとしており、今後もより一層のオンライン利用の拡充に取り組む必要があります。

当局管内においては、従来から貴会及び会員の皆様の御理解と御協力をいただいているところです。会員の皆様の積極的なオンライン利用に対しまして、厚く御礼申し上げますとともに、今後もオンライン申請のより一層の利用促進に引き続き御協力をお願い申し上げます。

最後に、土地家屋調査士の皆様の御多幸、御活躍と群馬土地家屋調査士会の更なる御発展を祈念いたしまして、私からの新年の挨拶とさせていただきます。



年頭のあいさつ



群馬土地家屋調査士会

会長 佐藤 栄二

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、令和3年の新春を穏やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。また、旧年中は本会会務運営に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、去年は新型コロナウイルスにより私たちの生活は一変しました。年頭は例年通りの会務運営から始まり、日に日にコロナ禍が日に日に大きくなる報道等が増え、その影響により各支部の活動も大きく制約されることとなり、本会も例年にない取り組みの中で会務を進めてまいりました。政府の措置や群馬県の「社会経済活動再開に向けたガイドライン」に基づく要請の中での慣例行事、会議、研修等はいかにして対応するべきか前例が無いため大変苦慮しております。慣例行事は規模を縮小する、または先送りか中止に、会議はZoomによるテレワーク方式を導入して開催する等、今後は各種の会議にも利用頻度を上げていかざるを得ないと考えています。研修については、特大ホールを利用した会員研修会、ビデオ撮影(収録)したうえでのWEB視聴による研修を検討しておりますが実現までには至っておりません。日本土地家屋調査士会連合会や関東ブロック協議会の行事や諸活動も同様で、規模の縮小やWEBを用いた会議が多用されております。

去年は土地家屋調査士制度制定70周年を迎えた年でもありました。土地屋調査士法の一部が改正され、使命の明確化、懲戒手続きの適正・合理化、一人法人の可能化などが盛り込まれ近年の状況の変化に沿った内容に沿って改正されました。これに伴い連合会会則には会員が遵守すべき土地家屋調査士職務規程が新設されました。業務の取扱い要領についても見直しがなされ、今までの「調査実施要領」に変わり「業務取扱要領」が採択されました。3月頃には、

この要領が会員皆様の手元に配付され6月からの運用となる予定となっております。配付から運用までの期間が短く、コロナ禍の制約も続き年度末と総会の時期も重なる中で会員皆様への周知と浸透が図れるのか心配な面もあります。これらの改正により私たちの業務活動が能動的に執り行われ、時代に即した対応がなお一層求められるのではないのでしょうか。「脱ハンコ」「デジタル庁」の推進が唱えられており不動産登記申請のあり方にどのような影響を及ぼすのか気になるところです。オンライン申請とどのように共鳴し進化するのか、登記行政に革新的な変化がもたらされるのか、所有者不明土地問題の対策として現在審議が進められている民法・不動産登記法部会での見直しがいつ、どのような形で収まるのか。これら変革の波はまだまだ続くでありましようから私たちは常に情報を取得・把握する体制を整え、的確な行動を起こせるよう探求する姿勢が必要であろうものと考えます。

年が明けてなお新型コロナ感染状況は収束せず拡大傾向にあるようです。海外ではワクチンの開発・接種が進んでおり、日本でもワクチン開発の進捗が報道されております。安心してワクチン接種できるようになる日まで皆様にはより徹底した感染回避措置をお取りいただきたいと思っております。そして、新型コロナウイルスが終息した折には大いに旅行・スポーツ観戦・歌や踊りなどを満喫していただきますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



会務報告

(令和2年8月1日～令和3年1月18日)

月	日	用 務	開催場所	出席者	
8	4	無料登記相談	電話対応	相談員1名	
	5	センター 受付面談	調査士会	相談員2名	
	18	無料登記相談	電話対応	相談員1名	
	19	センター 受付面談	調査士会	相談員2名	
	21	第4回常任理事会	調査士会	佐藤会長他8名	
	26	県主催：第1回空き家対策セミナー センター 受付面談	群馬会館 調査士会	堀越空き家PTリーダー他3名 相談員2名	
9	8	法務局との打合せ会	法務局	齋藤副会長他3名	
	9	センター 受付面談	調査士会	相談員2名	
	11	第4回理事会（書面決議）		佐藤会長他20名	
	15	無料登記相談	電話対応	相談員1名	
	16	関プロ 第1回正副会長会議（Web会議） 関プロ 第2回会長会議（Web会議）	調査士会 調査士会	萩原副会長 佐藤会長、萩原副会長	
	17	第5回常任理事会	調査士会	佐藤会長他8名	
	25	沼田支部 須田重一会員御尊父様告別式参列 高崎支部 羽鳥良二会員御令室様弔問	セレモニーホール優花 高崎市内	佐藤会長 佐藤会長	
	30	センター 第2回筆界特定室との打合せ センター 第4回運営小委員会 センター 第2回運営委員会	法務局 調査士会 調査士会	中村センター長他2名 中村センター長他9名 中村センター長他9名(内弁護士3名)	
	10	1	自民党政調懇談会 無料登記相談	群馬県議会庁舎会議室 電話対応	佐藤会長 相談員1名
		5	沼田支部 高橋伸司会員御母堂様通夜参列	三東メモリアルホールセリオ月夜野会館	佐藤会長
6		関プロ 総会当番会に伴う現地視察	吾妻方面	萩原副会長他4名	
7		センター 受付面談	調査士会	相談員2名	
9		三者（法・司・調）事務打合せ会	法務局	佐藤会長他2名	
10		伊勢崎支部 渡辺元会員御岳父様告別式参列	J A セレモニーホールいせさき	佐藤会長	
14		センター 受付面談	調査士会	相談員2名	
15		第6回常任理事会	調査士会	佐藤会長他8名	
17		県主催：第2回空き家対策セミナー	Gメッセ群馬 メインホールA	堀越空き家PTリーダー他4名	
21		センター 受付面談	調査士会	相談員2名	
26		日調連 70周年記念シンポジウム	東京国際フォーラム	佐藤会長他2名	
27		日調連 第1回全国会長会議	東京トームホテル	佐藤会長	
28		センター 受付面談	調査士会	相談員2名	
11		4	センター 受付面談	調査士会	相談員2名
	12	法務局との打合せ（実態調査） 故中曽根康弘氏群馬県民・高崎市民合同葬 無料登記相談	前橋地方法務局 Gメッセ群馬 電話対応	表野常任理事 佐藤会長 相談員1名	
	13	本会・協会合同役員研修会	群馬 J A ビル	佐藤会長他43名	
	16	関プロ 総務担当者会同 関プロ 業務担当者会同 関プロ 研修担当者会同	調査士会	表野常任理事他1名 吉野(典)常任理事他5名 塚越常任理事他2名	

月	日	用 務	開催場所	出席者
11	18	令和元年度 第2回監査会 第7回常任理事会 (Web会議)	調査士会 各事務所	監事3名他 佐藤会長他8名
	24	無料登記相談	電話対応	相談員1名
	25	センター 受付面談 センター 第3回筆界特定室との打合せ センター 第5回運営小委員会 センター 第3回運営委員会	調査士会 法務局 調査士会 調査士会	相談員2名 中村センター長他2名 中村センター長他6名 中村センター長他9名(内弁護士3名)
	26	国民年金基金及び賠償責任保険への加入の促進に関する説明会 (Web会議)	各事務所	表野・新井各常任理事
	29	渋川市主催 空き家相談会	渋川市役所	萩原空き家対策PT委員
12	2	センター 受付面談	調査士会	相談員2名
	4	法務局 実態調査	前橋地方法務局太田支局	新井常任理事他2名
	8	法務局との打合せ	法務局	齋藤副会長他3名
	9	太田支部 和田喜由会員御令室様告別式参列 センター 受付面談	太田西さくら会館 調査士会	佐藤会長 相談員2名
	10	日調連 新人研修会実施に伴う接続テスト 第1回研修部会	調査士会 調査士会	塚越常任理事、齋藤副会長 塚越常任理事他3名
	14	日調連 年次研修に関する説明会 (Web)	調査士会	塚越常任理事
	15	法務局 実態調査 法務局 実態調査 無料登記相談	前橋地方法務局高崎支局 前橋地方法務局沼田支局 電話対応	表野常任理事他3名 吉野(清)常任理事他2名 相談員1名
	16	第8回常任理事会 (Web会議) センター 受付面談	各事務所 調査士会	佐藤会長他8名 相談員2名
	17	関プロ 中間監査 関プロ 第2回正副会長会議	東京会 東京会及び事務所	佐藤会長 佐藤会長、萩原副会長
	18	無料登記相談	電話対応	相談員1名
	21	太田支部 白石佳男会員御母堂様告別式参列	セレクト齋苑カインズ	佐藤会長
	21 23	日調連 土地家屋調査士新人研修 (Web)	調査士会	受講者6名(内、有資格者1名)
	24	第8回常任理事会 (Web会議) *12/16続き	各事務所	佐藤会長他8名
	26	伊勢崎支部 高柳和男会員御令室様告別式参列	境さくらファミリーホール	佐藤会長
令和3年	1	5 新年挨拶回り 12 無料登記相談 13 センター 受付面談 13 } 日調連 令和2年度第2回全国会長会議 (Web会議) 14 } 14 関プロ 第3回会長会議 (Web会議) 無料登記相談	前橋地方法務局 電話対応 調査士会 調査士会 調査士会 電話対応	佐藤会長 相談員1名 相談員2名 佐藤会長 佐藤会長、萩原副会長 相談員1名

会議報告

(令和2年8月1日～令和3年1月18日)

会議名	開催日時・会議内容等
〔本会〕	
第4回常任理事会	<p>令和2年8月21日(金) 13:30～ 調査士会</p> <p>議 題 (1)三者(法・司・調)事務打ち合せ会の日程調整について (2)総務省「一日合同行政相談所」の開設に伴う会員の派遣について (3)前橋警察署からの照会事項について (4)2021年(令和3年)土地家屋調査士手帳の作成について (5)調査士白書(2020年版)の配付について (6)日経新聞の広告企画について (7)70周年記念境界標の作成について (8)新型コロナ感染拡大に伴う今後の会務形態の見直しについて (9)諸規則の改正について (10)その他</p> <p>出席者 佐藤会長、萩原・吉井・齋藤各副会長、表野・新井・吉野(典)・塚越・吉野(清)各常任理事</p>
第1回 会則及び諸規則等検討委員会 (書面決議)	<p>令和2年8月28日 *令和2年8月31日承認</p> <p>承認事項 (1)「注意勧告に関する規則」の一部改正について (2)「補助者規則」の一部改正について (3)「慶弔規程」の一部改正について</p> <p>構成員 表野委員長、清水(千)副委員長、新井(清)・吉野(典)・塚越・吉野(清)各委員</p>
第4回理事会(書面決議)	<p>令和2年9月7日 *令和2年9月11日承認</p> <p>承認事項 (1)「注意勧告に関する規則」の一部改正について (2)「補助者規則」の一部改正について (3)「慶弔規程」の一部改正について</p> <p>構成員 佐藤会長、萩原・吉井・齋藤各副会長、表野・新井・吉野(典)・塚越・吉野(清)各常任理事、清水(千)・高橋・新井(孝)・清水(雅)・中島・中山・小林・石原・篠原・神山・久保田・鳥羽各理事</p>
第5回常任理事会	<p>令和2年9月17日(木) 13:30～ 調査士会</p> <p>議 題 (1)会議方法について(リモート会議デモ) (2)予定行事の確認 ①会員研修会・役員研修会 ②名誉会長・顧問・相談役会議 ③新年賀詞交歓会(当番会)の開催対応について ④関プロ定例総会の対応について (3)その他 ①法司調会議(10/9開催)について ②所有者等探索委員の推薦について ③自民党政調懇談会(10/1開催)について ④群馬県空き家対策セミナー(10/17開催)について ⑤渋川市空き家相談会(11/29開催)の対応 ⑥国民年金基金・賠償責任保険の説明会について ⑦日調連70周年記念シンポジウム(10/27開催)の参加予定者の取りまとめ ⑧渋川市空家等啓発資料に係る協力団体名簿の掲載について ⑨その他</p> <p>出席者 佐藤会長、萩原・吉井・齋藤各副会長、表野・新井・吉野(典)・塚越・吉野(清)各常任理事</p>

会議名	開催日時・会議内容等
相談センター 第4回運営小委員会	<p>令和2年9月30日(水) 15:15～ 調査士会</p> <p>議 題 (1)相談・調停案件の検討について (2)筆界特定室との連絡協議会について (3)全国一斉無料相談会の報告 (4)「群馬の地租改正」について (5)研修会について (6)その他</p> <p>出席者 中村センター長、山口副センター長、伊藤・前原・戸所・白川・徳江各運営委員 本会 柳澤相談役、齋藤副会長、吉野(清)常任理事</p>
相談センター 第2回運営委員会	<p>令和2年9月30日(水) 17:00～ 調査士会</p> <p>議 題 (1)相談・調停案件の検討について (2)筆界特定室との連絡協議会について (3)全国一斉無料相談会の報告 (4)「群馬の地租改正」について (5)研修会について (6)その他</p> <p>出席者〔弁護士〕天田副センター長、栗原・眞庭各運営委員 〔調査士〕中村センター長、山口副センター長、伊藤・前原・戸所・白川・徳江各運営委員</p>
第6回常任理事会	<p>令和2年10月15日(木) 13:30～ 調査士会</p> <p>議 題 (1)会議方法の検討について (2)役員研修会について (3)その他</p> <p>出席者 佐藤会長、萩原・吉井・齋藤各副会長、表野・新井・吉野(典)・塚越・吉野(清)各常任理事</p>
第7回常任理事会 (Web会議)	<p>令和2年11月18日(水) 14:30～ 各事務所</p> <p>議 題 (1)補助者証に関する事項について (2)街区基準点アンケートについて (3)士業協議会定例会開催アンケートについて (4)土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査について (5)令和2年度新人研修会の対応について (6)関プロ総会(当番会)の運営について (7)退会者の調査士表示問題について (8)会員研修会について (9)その他</p> <p>出席者 佐藤会長、萩原・吉井・齋藤各副会長、表野・新井・吉野(典)・塚越・吉野(清)各常任理事</p>
相談センター 第5回運営小委員会	<p>令和2年11月25日(水) 15:15～ 調査士会</p> <p>議 題 (1)相談・調停事案について (2)筆界特定室との連絡協議会について (3)研修会について (4)その他</p> <p>出席者 中村センター長、山口副センター長、伊藤・前原・戸所・白川・徳江各運営委員</p>

会議名	開催日時・会議内容等
相談センター 第3回運営委員会	令和2年11月25日(水) 17:00～ 調査士会
	議 題 (1)相談・調停事案について (2)筆界特定室との連絡協議会について (3)研修会について (4)その他
	出席者〔弁護士〕天田副センター長、栗原・眞庭各運営委員 〔調査士〕中村センター長、山口副センター長、伊藤・前原・戸所・白川・ 徳江各運営委員
第1回研修部会	令和2年12月10日(木) 17:00～ 調査士会
	承認事項 (1)会員研修会について (2)その他
	構成員 塚越常任理事、齋藤各副会長、神山・篠原各理事
第8回常任理事会 (Web会議)	令和2年12月16日(水) 9:00～ 各事務所
	議 題 (1)令和3年群馬県議会新春交流会の開催について (2)群馬テレビ年賀状について (3)新年の挨拶回りについて (4)太田市空き家対策協議会委員推薦の件 (5)関ブロ総会(群馬会当番会)について (6)第1回会員研修計画について (7)研修会等の開催が困難な為の方策について (8)令和2年度新人研修対応について (9)関ブロ担当者会同の業務担当者会同会議録作成の手当について (10)土地家屋調査士法70周年記念事業広報グッズの作成方について (11)退会者の調査士表示問題について
	出席者 佐藤会長、萩原・吉井・齋藤各副会長、表野・新井・吉野(典)・ 塚越・吉野(清)各常任理事
	令和2年12月24日(木) 13:00～ 各事務所
	議 題 (1)補助者規則の改正について (2)館林支部からの実務書購入要望について (3)令和3年度表彰者の推薦について (4)新入会員研修会の開催について
	出席者 佐藤会長、萩原・吉井・齋藤各副会長、表野・新井・吉野(典)・ 塚越・吉野(清)各常任理事
【日調連】	
第1回全国会長会議	令和2年10月27日(火) 9:00～ 東京ドームホテル
	議 題 (1)各部等事業計画の実施状況と今後の取組の説明 (2)連合会が取り組んでいる事項等の説明 ①土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査結果について ②土地家屋調査士会への助成の在り方について ③(仮称)土地家屋調査士業務取扱要領の設置について ④(仮称)土地家屋調査士業務取扱要領に関する説明会の開催について ⑤年次研修について ⑥土地家屋調査士会ADRセンターにおける電気通信回線を利用した 相談及び調停の実施について (3)意見交換・情報交換
	出席者 佐藤会長

会議名	開催日時・会議内容等
第2回全国会長会議	<p>令和3年1月13日(水) 13:00～ 調査士会</p> <p>議 題 (1)連合会が取り組んでいる事項等の説明</p> <p>①土地家屋調査士会連合会会則の一部改正(案)について</p> <p>②土地家屋調査士会会則モデルの一部改正(案)について</p> <p>③土地家屋調査士法人会員に係る日本土地家屋調査士会連合会の会費の誤納への対応について</p> <p>④ブロック協議会及び土地家屋調査士会への助成について</p> <p>⑤年次研修について</p> <p>⑥登記制度創造プロジェクトについて</p> <p>(2)令和3年度における連合会事業方針の説明</p> <p>①令和3年度事業方針大綱(案)について</p> <p>②令和3年度各部等事業計画(案)について</p> <p>(3)意見交換・情報交換</p> <p>出席者 佐藤会長</p>
【関プロ】	
第1回正副会長会議 <Web会議>	<p>令和2年9月16日(水) 13:00～ 調査士会</p> <p>議 題 (1)副会長の業務分掌について</p> <p>(2)担当者会同について</p> <p>(3)日本土地家屋調査士会連合会の役員選挙について</p> <p>(4)その他</p> <p>出席者 萩原副会長(関プロ副会長)</p>
第2回会長会議<Web会議>	<p>令和2年9月16日(水) 15:00～ 調査士会</p> <p>議 題 (1)担当者会同について</p> <p>(2)日本土地家屋調査士会連合会の役員選挙について</p> <p>(3)その他</p> <p>出席者 佐藤会長、萩原副会長(関プロ副会長)</p>
総務担当者会議<Web会議>	<p>令和2年11月16日(月) 13:00～ 調査士会</p> <p>議 題 (1)コロナ禍における会務運営について</p> <p>(2)会員の業務におけるコロナ対応についての指導</p> <p>(3)各種会議の開催方法について</p> <p>(4)WEB会議について</p> <p>(5)令和3年開催の定時総会について</p> <p>(6)本会の役員改選について</p> <p>(7)苦情対応について</p> <p>(8)新型コロナウイルスの影響による取扱業務減少に伴う会費納付に関する件</p> <p>(9)法務局からの非違行為についての調査委嘱について</p> <p>出席者 表野常任理事、吉野(清)常任理事</p>

会議名	開催日時・会議内容等
業務担当者会議<Web会議>	<p>令和2年11月16日(月) 13:00～ 調査士会</p> <p>議 題 (1)オンライン申請の普及状況、調査士報告方式への推進状況について (2)法改正や運用改正等の情報収集及び会員への周知方法について (3)職務規程、業務取扱要領について (4)会社の印鑑証明書添付省略の件 (5)新入会員の対応について (6)基準点利用の地積測量図について (7)各市町村で相違する立会方法の対処について (8)道路内民地の取扱いについて (9)土地所有者不明土地について (10)不動産登記法第14条地図に関するデータの閲覧及び公開について (11)法務局との事務打合せ内容の会員への周知について (12)コロナ禍においての各会の対応について</p> <p>出席者 吉野(典)常任理事、萩原・吉井・齋藤各副会長、新井常任理事 新井(孝男)理事</p>
研修担当者会議<Web会議>	<p>令和2年11月16日(月) 13:00～ 調査士会</p> <p>議 題 (1)コロナ禍における研修会の開催方法について (2)動画配信等による研修方式での受講確認及びCPDポイントについて (3)研修会の出席率について (4)年次研修会について (5)新入会員研修会について (6)公開講座について (7)技術系の研修の実施状況について (8)ADR認定土地家屋調査士向けの研修について (9)研修規程について</p> <p>出席者 塚越常任理事、佐藤会長、神山理事</p>
第2回正副会長会議 <Web会議>	<p>令和2年12月17日(木) 15:00～ 調査士会</p> <p>議 題 (1)令和3年度事業計画案について (2)令和3年度収入支出予算案について (3)関東ブロック協議会第67回定例総会について (4)中間監査会における監査結果について (5)その他</p> <p>出席者 萩原副会長(関プロ副会長)</p>
第3回会長会議<Web会議>	<p>令和3年1月14日(木) 13:30～ 調査士会</p> <p>議 題 (1)令和3年度事業計画案について (2)令和3年度収支予算書案について (3)関東ブロック協議会第67回定例総会について (4)日本土地家屋調査士会連合会役員候補者選任の件について (5)その他</p> <p>出席者 佐藤会長、萩原副会長(関プロ副会長)</p>

会議名	開催日時・会議内容等
〔その他〕	
第2回法務局との定例打合せ会	<p>令和2年9月8日(火) 14:00～ 法務局</p> <p>打合せ事項(1)伊勢崎支局の事件処理状況について (2)オンラインの促進について (3)登記申請(補正)について (4)表題部所有者不明土地について (5)土地基本法の一部改正に関する報告</p> <p>出席者 〔法務局〕 宮崎首席登記官、(第2)貴田・(第3)加倉井各統括登記官 小坂総括表示登記専門官 〔本会〕 齋藤副会長、吉野(典)常任理事、新井(孝)・清水(雅)各理事</p>
相談センター 第2回筆界特定室との打合せ会	<p>令和2年9月30日(水) 13:45～ 法務局</p> <p>議 題 (1)現況報告 (2)連携事例報告 (3)連携方策の状況 (4)研修会について (5)その他</p> <p>出席者 〔法務局〕 小坂総括表示登記専門官、荻原表示登記専門官、田村登記官、吉原事務官 〔センター〕 中村センター長、山口副センター長、徳江運営委員</p>
三者(法・司・調)事務打合せ会	<p>令和2年10月9日(金) 10:00～ 法務局</p> <p>協議事項 (1)前橋地方法務局提出協議事項 ①オンライン申請の促進について ②相続登記の促進に向けた取組(周知・広報)について ③その他 (2)司法書士会・調査士会からの提出協議 (3)その他</p> <p>出席者 〔法務局〕 永瀬局長、河井次長、田中総務課長、宮崎・若月各首席登記官 菅野統括登記官 〔調査士会〕 佐藤会長、萩原・齋藤各副会長 〔司法書士会〕 西川会長、板倉副会長、伊藤総務部長</p>
法務局との打合せ	<p>令和2年11月12日(木) 14:00～ 法務局</p> <p>打合せ事項(1)土地家屋調査士法等の規定に違反する事実の有無についての 実態調査の実施に係る事前打合せ</p> <p>出席者 〔本会〕 表野常任理事</p>
相談センター 第3回筆界特定室との打合せ会	<p>令和2年11月25日(水) 13:45～ 法務局</p> <p>議 題 (1)現況報告 (2)今年度の活動予定 (3)その他</p> <p>出席者 〔法務局〕 小坂総括表示登記専門官、荻原表示登記専門官、吉原事務官 〔センター〕 中村センター長、山口副センター長、白川運営委員</p>

会議名	開催日時・会議内容等
第3回法務局との定例打合せ会	令和2年12月8日(火) 14:00～ 法務局
	打合事項(1)登記申請の現在の状況 (2)オンライン申請の促進について (3)表題部所有者不明土地について (4)14条地図作成作業について (5)その他
	出席者 [法務局] 宮崎首席登記官、加倉井統括登記官 小坂総括表示登記専門官 [本会] 齋藤副会長、吉野(典)常任理事、新井(孝)・ 清水(雅)各理事

会員動向

(令和2年8月1日～令和3年1月18日まで)

入会

なし

退会

大澤孝明(伊勢崎)
菊地範子(太田)
石井満夫(桐生)

現在会員数 326名、他1法人

報 告

■ 本会・協会合同役員研修会 ■

日 時：令和2年11月13日（金）午後1時30分～午後4時40分

場 所：群馬県JAビル 大ホール

対象者：本会・協会役員、相談センター役員

研修内容及び講師

第1部

①法定相続情報証明制度について 講師：前橋地方法務局不動産登記部門 統括登記官 加倉井 栄雄 氏

②自筆証書遺言書保管制度について 講師：前橋地方法務局供託課 遺言書保管官 西田 匡司 氏

第2部

土地家屋調査士法の改正及び職務規程の創設、他について

講師：日本土地家屋調査士会連合会理事 総務部次長 東野 勝一 氏

出席者：44名

本年度の本会・協会合同役員研修会は、新型コロナウイルス感染症の広がりがやまない状況を考慮し、3密を避けるため「JAビル大ホール」での開催となりました。法定相続情報証明制度については、平成29年度から開始されており、月平均 前橋局で50件、県全体では200～300件の申請があるとのことでした。また、法定相続情報一覧図の作成について注意する点は、被相続人死亡の前に亡くなった者は記載しない。相続放棄した者は記載する。書類は5年間保存される等詳細な説明があり大変参考になりました。自筆証書遺言書保管制度については、今年7月から制度が開始され、前橋局で今までに133件の利用があったそうです。最後の講習である土地家屋調査士法の改正及び職務規定の創設等については、隣県栃木会の東野日調連総務部次長の独特の話しぶりに魅了された形となりました。また、調査・測量実施要領に替り（仮称）取扱要領が新年度早々には実施される等の説明がありました。今後の会員への新要領の普及に課題が残ると感じました。

〔記：副会長 吉井文敏〕



〔講師：法務局 西田遺言書保管官、加倉井統括登記官〕



〔講師：日調連 東野総務部次長〕

■日調連 土地家屋調査士制度制定70周年記念シンポジウム■

日 時：令和2年10月26日(月) 午後1時00分～

場 所：東京国際フォーラム ホールB7

令和2年10月26日に東京国際フォーラムで土地家屋調査士制度制定70周年記念シンポジウムが日調連、全公連、全調政連の共催で開催されました。

コロナ禍の中、マスクの着用、問診票の提出、検温、消毒、ソーシャルディスタンス等の対策を施し1200人収用の会場に出席者約500人で行われました。この状況下での開催、主催者のご苦勞に感謝申し上げます。

当日は、第203回国会が開会され、ご多忙の中、当会名誉顧問の小淵優子衆議院議員と群馬3区選出の笹川博義環境副大臣がご来場下さいました。発信力のあるお二方が土地家屋調査士制度に関心を持って取り組んでいただくことは誠に心強くありがたいことと存じます。

シンポジウムは、小野連合会副会長の開会の辞から始まり國吉連合会長の挨拶「今、土地家屋調査士は何をなすべきか」、寺田逸郎前最高裁判所長官の記念講演「揺れ動く時代における専門家」、倉吉敬元東京高等裁判所長官、國吉連合会長、鈴木連合会副会長による討論「法改正！土地家屋調査士の使命」、和泉洋人内閣総理大臣補佐官の基調講演「防災・減災・国土強靱化！」、宿本尚吾国交省市街地建築課長、田口富隆岡崎市建築部次長、米澤實静岡会会員による意見発表「狭あい道路整備促進の必要性について」、豊田俊郎参議院議員の提言「法制定！狭あい道路整備促進の可能性について」、國吉連合会長による土地家屋調査士70年宣言、椎名全調政連会長による閉会の辞まで錚錚たる方々による内容であり主催者のシンポジウムに懸ける熱い思いが伝わってきました。

昭和25年7月31日法律第228号により土地家屋調査士法が制定されて以来70年が経過し、表示に関する登記の円滑な実施に資することは元より、人口減少、高齢化に関連する相続登記未了、所有者不明土地、空き家、さらには災害復旧への支障等様々な問題に対応し、その解決に尽力することは社会からの私たちへの要請であり積極的に取り組むことにより土地家屋調査士の更なる可能性を示すシンポジウムであったと感じております。

TVで観た話で恐縮ですが、伝統のある老舗の社長がインタビューで語っていました。伝統を受け継いで来られた秘訣は、何かの問いに、その時々において柔軟な変化を遂げてきたことと答えていました。土地家屋調査士制度も柔軟な変化を遂げつつ社会の要請に対応していくことで進化しながら伝統を築いていけるものと確信しております。

〔記：副会長 萩原澄之〕



〔当会名誉顧問 小淵優子衆議院議員を囲んで〕

■ 関ブロ 担当者会同 (総務・業務・研修) ■

日 時：令和2年11月16日(月) 午後1時00分～

場 所：調査士会館 会議室

議 題：会議報告(8ページ) 参照

総務部担当者会同

上記日程で関東ブロック協議会(1都10県)の担当者会同の総務部担当者として出席いたしました。今回、コロナウイルス感染症対策の影響でWEB会議での開催となりました。会議では、コロナ禍における会務運営、会員への苦情対応、法務局の非調査士調査などを中心に各会の担当者が現状や困っていることなどを発表し、それに対して各会の方針や対応状況などを話し合いました。やはり、コロナへの対応が各会とも腐心しているところであるようで、各会と情報を共有しながら、会務運営に努めていくことが大切と感じました。

〔記：総務部長 表野真祐〕

業務部担当者会同

コロナの影響下 web 会議で11会の業務担当者会同が行われました。

回線の不具合なのか、途中で不通になるなどのアクシデントがありましたが、何とか無事終わることができました。

今回、各会からの議題では、オンライン申請、今年から運用される業務取扱要領、日調連・法務省(局)からの業務に関する通知等を会員への周知方法など議論しました。

他の議題もそうですが、当会でも模索しながら検討していることなので、同じ悩みを抱えていると感じました。その結果、そう言う方法もあるんだなと感心もしました。

今後も他会とも連携しながら、会の運営に寄与できればと思います。

〔記：業務部長 吉野典房〕



〔Web 会議 業務担当者会同出席者〕

研修部担当者会同

関ブロ担当者会同は、Cisco の Webex という Web 会議ツールを使用して過日会議を開催しました。日調連も同様のツールを使用しています。最近ではコロナ禍のため、集合せずオンラインミーティングが多くなっています。群馬会もご多分にもれず、常任理事会も ZOOM での開催が増えている状況です。

さて、研修部としては各単位会がコロナ禍でどのような研修を行っているか、開催状況・開催方法について知りたいと思っていました。

各会、本年度の集合型研修の開催は見送る方向がほとんどでした。今年に入ってから研修会をしていない会もあり、群馬会は2月に司法書士会と合同開催できたのが、おそらくギリギリのタイミングでした。無事開催できたので良かったと思っております。

集合型とwebや動画配信のメリット・デメリットについてまとめたものです。

<メリット>

・オンライン研修

場所にとらわれず参加可能。交通費、移動時間にかかるコスト削減ができる。

講師や会場などの差が出ないため、会員に行う研修の品質に差が出にくい。

レポート提出で研修参加者の理解度と会員が希望する研修テーマが把握でき、次回にフィードバックできる。

・集合研修

会員が実際に会場まで集まって研修することで、対話や刺激が生まれ、建設的な発想やモチベーションの向上が期待できる。

講師が目の前にいるので、疑問があったらその場で質問することができる。

<デメリット>

・オンライン研修

デバイスや安定したインターネット環境が必要。

実施できるグループの人数がwebの場合は限定される。

ビデオ配信は緊張感が薄れる。会員同士の交流がない。

・集合研修

会場の確保が必要。交通費や移動時間の費用が発生する。

会員が通常業務を離れること、スケジュール調整に起因するコストがかかる。

発言者が限られる。講師の目の行き届く範囲に限界がある。

と群馬会は回答しましたが、どの会も内容はほとんど同様でありました。

やはり、集合型研修(リアル感)が良いと言う意見が多かったです。

オンライン研修はほとんどが双方向でなく、一方向のビデオ配信となり視聴後にレポート提出していただきCPDの付与の流れの様ですが、出席率(回答率)が低く、魅力(関心)のある研修内容の工夫が必要になるそうです。

コンテンツを準備するのが大変なため、連合会のeラーニングを見ていただき、レポート提出する会が増えているそうです。

またテーマ別研修会についての中で「年次研修」と「土地家屋調査士業務取扱要領」についての話題が多くありました。

年次研修は連合会が決めた研修制度で、すべての調査士が5年に1回研修を受ける事になりました。

土地家屋調査士研修制度基本要綱(一部改正)(令和2年12月10日施行)となり、年次研修と新人研修が【義務化】となりました。

その他の諸規則等で土地家屋調査士年次研修実施要領(新設)、日本土地家屋調査士会連合会会則第67条第2項の指定する研修の欠席者に対する指導要領モデル(新設)も併せて規定されました。(指導や注意勧告を受けることがある。)

これに関しての経緯は、連合会会則第67条2の規定にある、連合会または各調査士会の行う研修を受ける事になっていますが、出席率の低下、研修を全く受けない者、懲戒者に未受講者が多いなどがあり、業を煮やし、大なたを振るう事になったようです。

年次研修は第1期が令和3年度から令和7年度までとして実施されます。連合会から教材が今年度末(3月)に配布されますので、群馬会としても実施計画を策定して進めます。整い次第ご案内しますので、ご協力のほどお願いします。

また、先般、土地家屋調査士法の改正により、懲戒権者が法務大臣となり、懲戒事由や量定も全国統一のものになりました。連合会は、連合会会則第68条の2において、「調査士会の会員は、連合会の定める土地家屋調査士職務規程を遵守し業務に当たらなければならない。」と規定し、土地家屋調査士職務規程第12条第2項に定める要領として、「土地家屋調査士業務取扱要領」を制定しました。

平成17年2月1日発行の調査・測量実施要領・第6版の改定と思いますが、今後会員はこの要領を遵守することになりますので、これについても研修を行いたいと考えております(3月には皆様に新要領冊子発送とのことです)。

土地家屋調査士法の改正により、資格者としての位置づけとその責任がより明確にされたことによる影響も多々あると思っておりますが、今後の研修会には何とか仕事の都合をつけていただき、参加いただきます様お願いします。

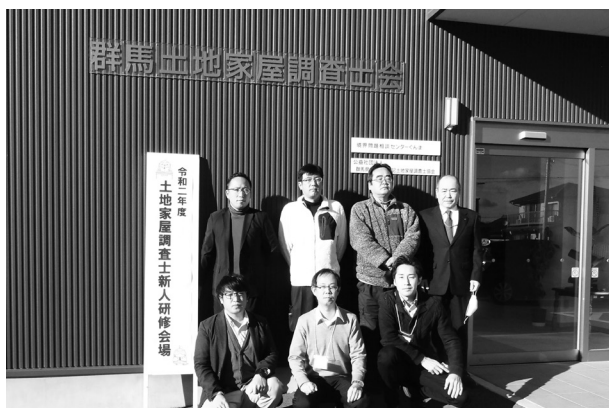
〔記：研修部長 塚越 仁〕

■日調連 令和2年度土地家屋調査士新人研修■

日 時：令和2年12月21日(月) 午後9時30分開講～
23日(水) 午後4時30分

場 所：調査士会館 2階 会議室

- 研修内容：1 会員心得、職務上請求書の取扱い
2 土地家屋調査士の職責と倫理
3 業務取扱要領①通則
4 業務取扱要領②土地の調査・測量実務、技術
5 業務取扱要領③建物の調査・実務
6 報酬の運用
7 筆界と所有権界
8 筆界確認の実務
9 筆界特定制度、ADR
(境界紛争解決における土地家屋調査士の関わり)
10 土地・建物の所有及び利用上の規制関連法—1土地・建物
11 土地・建物の所有及び利用上の規制関連法—2戸籍・相続
12 土地家屋調査士の民事責任・事故例



関東ブロック主催の新人研修が連合会主催の新人研修に変わって2回目の研修でした。当初、つくば市の「つくば国際会議場」での集合研修の予定がコロナの全国的な蔓延により6月予定から12月予定に延期になり、結果的には各単会でのインターネットライブ配信による開催となりました。

群馬会では新人総勢6名が参加し早朝から会館に集合、3日間ソーシャルディスタンスを守りながら、担当役員2～3名の協力を得て開催することができました。トラブルもなく進行ができ無事全員修了証書が交付できたことに安心しました。

〔記：副会長 齋藤清久〕

受講者一覧

No.	支部	氏名	入会年月日
1	高崎	高橋 昇	H28.10.11
2	伊勢崎	島田 博之	R1.10.1
3	桐生	福田 雄太	R1.10.1
4	渋川	高木 伸	R1.10.10
5	桐生	樋口 浩史	R2.2.3



<新人研修を受講して>

桐生支部 樋口浩史

本年度の土地家屋調査士会新人研修を受講いたしました、桐生支部の樋口と申します、本年は新型コロナウイルスの発生による影響を考慮し、群馬土地家屋調査士会の会館で感染防止の対策をしながらの受講となりました。

研修では、最初に業務を行う上での基本的な心得や調査士倫理、業務の取扱要領や筆界のことなど、業務を始めにあたって最初に確認しておくべき論点について勉強しました。特に筆界をはじめとする境界線についての考えなどは奥が深く、研修を受けたことで筆界に対する理解が深まりました。後半は筆界特定、ADRなどの研修があり、国民の権利意識が高まっていく中で、これからの調査士は従来の業務に留まることなく筆界の専門家として多様な形で社会に貢献していくことが求められているのだと思いました。

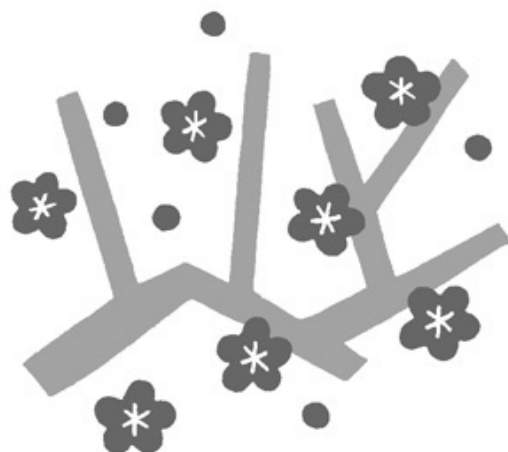
また本研修では自分以外にも時期を同じくして登録または開業し、既にも実務の世界で活躍している方々も一緒に受講しており、研修を通して彼等から自分の知らない知識や技術を教わる機会もあり、研修が進むにつれて自分の見識が広がっていくのを感じました。これから業務を行っていく中で、何事も話し合える心強い同期の皆様に恵まれたことは研修と同じくらい大きな収穫であったと思います。

■令和元年度 大規模災害対策基金募金■

皆様のご協力により、今年度も募金が集まりましたので令和2年12月23日付け金250,000円を連合会へ送金いたしました。ありがとうございました。

支部名	会員数	金額 (円)
前 橋	67	33,500
伊勢崎	39	39,000
桐 生	25	25,000
太 田	37	37,000
高 崎	87	40,000
富 岡	15	15,000
沼 田	17	17,000
吾 妻	14	14,000
渋 川	14	14,000
館 林	14	14,000
その他		1,500
合 計	329	250,000

平成9年度～令和2年度
群馬会募金累計額 5,651,000円



お知らせ

■ 令和2年度 新入会員研修会 ■

令和2年度新入会員研修会を次のとおり開催を予定しております。
なお、詳細等につきましては、対象者にご連絡いたします。

- ・開催日 令和3年3月4日(木) 午後
- ・場 所 群馬JAビル 10階 第1会議室

境界問題相談センターぐんま主催

■ 令和2年度研修会 ■

相談員・調停員及び認定調査士を対象とした研修会の開催を予定しております。
なお、詳細等につきましては、対象者にご連絡いたします。

- ・開催日 令和3年3月5日(金) 午後
- ・場 所 群馬JAビル 大ホール

■ 第77回(令和3年度)定時総会 ■

令和3年度の定時総会の日程が次のとおり決まりましたのでお知らせいたします。
なお、詳細につきましては、後日、ご連絡いたします。

- ・開催日 令和3年5月21日(金)
- ・場 所 群馬ロイヤルホテル

発行所

〒379-2141 前橋市鶴光路町19番地2

群馬土地家屋調査士会

TEL 027-288-0033

FAX 027-265-6810

編集 広 報 部

印刷 モリタ印刷工業株式会社

TEL 027-253-2222(代)